

第 20 回
第二言語習得研究会(JASLA)
全国大会
予稿集

大会テーマ

第二言語習得研究の軌跡と
今後の展望

2009 年 12 月 12 日(土)～13 日(日)
於 南山大学名古屋キャンパス
(〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18)

◆目次◆

プログラム・予稿集掲載内容一覧	2
大学構内地図	5
予稿集	6
『第二言語としての日本語の習得研究』投稿規定・書式	110
第 21 回第二言語習得研究会(JASLA) 全国大会研究発表の募集	115
第二言語習得研究会(JASLA) 2009 年役員・委員	116

プログラム

■ 12月12日(土) (会場：B棟 B11) ■

12:30 受付

13:00 開会

司会 坂本 正 (南山大学)

開会宣言 鎌田 修 (第二言語習得研究会会長)

開催校挨拶 ミカエル・カルマノ (南山大学長)

13:15~16:45 <<パネルディスカッション>>

日本における第二言語習得研究の軌跡と今後の展望
—30年を振り返り、これからの研究を考える—

「日本における第二言語習得研究の夜明け」

司会：坂本 正 (南山大学) : p. 6

「パネリストへの5つの質問—初学者として聞きたいこと—」

質問者：堀 恵子 (国際交流基金) : p. 8

「認知心理学的な視点から見た言語学習の認知のメカニズム」

小柳 かおる (上智大学) : p. 9

「音声習得研究の視点から見た第二言語習得研究」

戸田 貴子 (早稲田大学) p. 15

「社会言語学の視点から—第二言語習得研究の30年を振り返る—」

渋谷 勝己 (大阪大学) : p. 21

「認知言語学と言語習得・教育研究」

森山 新 (お茶の水女子大学) p. 27

指定討論者：畑佐 由紀子 (広島大学)

16:45~17:00 総会・事務局からの連絡

17:00~ <<懇親会>> (会場：同窓会館2階)

■ 12月13日(日) (会場：B棟) ■

9:30 受付

9:45~12:00 ≪口頭発表A 1≫ (B11) 司会：小林 ミナ (早稲田大学)

9:45-10:15 教室内習得と自然習得の学習者の受身表現の特徴について
—教室内習得の学習者が自然習得の学習者から学ぶこと—
黒田 弘美 (南山大学大学院生) : p. 33

10:20-10:50 韓国語母語話者における情報要求の発話形式と
ポライトネス・ストラテジー
—日本語母語話者及び英語母語話者との比較から—
宮田 麻美 (南山大学大学院生) : p. 39

10:55-11:25 書き言葉における引用表現はどのように習得されるか
—場面性・時間性とのかかわり— 杉浦 まそみ子 (東京大学) : p. 45

11:30-12:00 第二言語作文過程における内省を促す支援の効果の検証
高橋 薫 (お茶の水女子大学大学院生) : p. 51

9:45~12:00 ≪口頭発表B 1≫ (B21) 司会：副田 恵理子 (藤女子大学)

9:45-10:15 日本語の外来語を多く含むテキストの読みに対する英語および
外来語の語彙処理の影響
—中国人日本語学習者の語彙知識との関連—
大和 祐子 (名古屋大学大学院生)・玉岡 賀津雄 (名古屋大学大学院) : p. 56

10:20-10:50 インドネシア語を母語とする日本語学習者による日本語の条件表現の習得
エルヴィタ・ウィアシー (名古屋大学大学院生)・斉藤 信浩 (名
古屋大学大学院生)・玉岡 賀津雄 (名古屋大学大学院) : p. 62

10:55-11:25 中国人日本語学習者のテイルの形と意味の習得における
動詞の種類、活用および文脈の影響
孫 猛 (東北大学大学院生)・小泉 政利 (東北大学)・玉岡
賀津雄 (名古屋大学)・宮岡 弥生 (広島経済大学) : p. 68

11:30-12:00 議論の場における学習者の「他者発言容認の前置き表現」の縦断的变化
柳田 直美 (東京外国語大学世界言語社会教育センター) : p. 74

*** 12:00~13:30 昼休み ***

- 13:30~14:45 《基調講演》 (B11) 司会：松崎 寛 (広島大学)
- 外国語学習の科学：S L A研究の過去・現在・未来
白井 恭弘 (ピッツバーグ大学)：p. 80
- 14:45~16:45 《ポスター発表》 (B44・B45) 担当：池田 佳子 (関西大学)
- (1) 談話レベルから見る台湾人日本語学習者の視点表現の使用
—授受表現を中心に— 魏 志珍 (名古屋大学大学院生)：p. 82
- (2) 連体修飾構造習得過程における「の」の過剰使用の要因に関する新たなる見解
了戒 直江 (南山大学大学院生)：p. 84
- (3) 中国人日本語学習者による語用論的能力の習得に関わる知識の因果関係の検討
木山 幸子 (麗澤大学大学院生)・玉岡 賀津雄 (名古屋
大学大学院)・趙 萍 (麗澤大学大学院生)：p. 86
- (4) 日本語シャドーイングにおける学習者の意識と遂行成績
—台湾人中・上級日本語学習者を対象として—
岩下 真澄 (広島大学大学院生)・倉田 久美子 (広島大学大学院生)
・松見 法男 (広島大学)・李 翠芳 (台湾東呉大学)：p. 88
- (5) シャドーイング遂行時における学習者のメタ認知に関する研究
城 保江 (西南学院大学)：p. 90
- 15:00~16:40 《口頭発表 A 2》 (B11) 司会：小河原 義朗 (北海道大学)
- 15:00-15:30 中国人学習者における日本語アクセントの知覚力と生成力の関係
—複合名詞習得の縦断調査を通して—
柳 悦 (首都大学東京大学院生)：p. 92
- 15:35-16:05 広東母語話者の日本語ナ行音・ラ行音聴取における混同傾向
—日本語 (/n/,/r/)、英語(/n/,/l/)、中国標準語(/n/,/l/)を比較して—
大久保 雅子 (早稲田大学大学院生)：p. 98
- 16:10-16:40 日本語自然習得の可能性をもつ地域日本語活動に関する考察
—やりとりを通じた学習者の気づきにより
自然習得が誘発される可能性に関する一事例—
荻谷 太佳子 (名古屋外国語大学大学院生)：p. 104
- 16:50~17:00 閉会式 (B11) 司会：松崎 寛 (広島大学)
第 21 回全国大会のお知らせ 大関 浩美 (麗澤大学)